

改めて考える

障害者差別解消法と 合理的配慮

基調講演

講師 野澤和弘さん

植草学園大学教授／毎日新聞客員編集委員

合理的配慮セッション

障害があってもいきいき働けるように。
合理的配慮に取り組んでいる新潟県内の企業様と、
障害者就業・生活支援センターにお話をうかがいます。

(株)NSGソーシャルサポート様 (新潟市)

(株)ナルス様 (上越市)

障がい者就業・生活支援センター

さくら様 (上越市)

2023. **11/30** (木)

13時30分～16時30分 (予定)

オンライン

(Zoomミーティング)

参加費 1,000円

(新潟県社会福祉士会正会員・準会員・
みらい会員は無料)

申込方法は裏面をご覧ください

障害者差別解消法が施行されてから8年目となり、来年度には改正差別解消法の施行が予定されています。障害者をめぐる社会の動きは日々変化しており、障害者が地域の中で生き活きと生活できる社会づくりを目指していく必要があります。その中で、障害者への理解や合理的配慮を進めていくことが大きな課題となっています。今回は改めて障害者差別解消法と合理的配慮を考え、今後の改正も踏まえたお話を野澤和弘さんからうかがいます。また、地域で障害者への合理的配慮を進めながら、障害者雇用を行っている企業にもご参加いただき、先進的な取り組みをうかがいます。

講師紹介

野澤和弘 (のざわ・かずひろ) さん

植草学園大学教授／毎日新聞客員編集委員

1983年早稲田大学法学部卒業、毎日新聞社に入社。東京本社社会部で、いじめ、ひきこもり、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。知的障害・自閉症の子どもを持つ父である。

セッション登壇企業・機関紹介

(株)NSGソーシャルサポート

2020年2月設立。(株)NSGホールディングスの特例子会社。「障がい者を障害にしないボーダレス・ライフスタイルの提供で人々の幸福と豊かさを実現する」という事業理念のもと、障がい者への「暮らす」「学ぶ」「働く」を提供する事業を展開している。

(株)ナルス

地域のスーパーマーケットとして、各店舗で障害者1名以上を採用できるように取り組み、2010年以降毎年法定雇用率を達成。職場だけでなく就労支援機関と関わりながら、障害者の職場定着につなげている事業所として、2022年には「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞」を受賞。

障がい者就業・生活支援センターさくら

新潟県内に7カ所ある障害者就業・生活支援センターのひとつ。運営母体は社会福祉法人さくら園(上越市)。障がいのある方の職業的自立に向けて、雇用と福祉の関係機関との連携のもと、就職面・生活面をサポートしている。

申込方法

専用申込フォームからお申込みください。【11/20締切】
(下記URLまたは右記QRコード／Googleフォームを使用)

<https://forms.gle/mT76VxGsJrSaxiTdA>

※上記のフォームにアクセスできない場合は、下記に必要事項を記入し、FAX025-281-5504 またはメールにて本用紙をお送りください。
メールアドレス njacsw@poplar.ocn.ne.jp



改めて考える **障害者差別解消法と合理的配慮(11/30)参加申込書**
※専用フォームを使用できない場合、こちらをFAXまたはメールしてください

参加者のおなまえ	
所属先(勤務先、学校等)の名称	
参加者の職名・役職	
連絡用メールアドレス	*研修に関する連絡はメールとなります。アドレスに間違いがないようご記入ください。
連絡用電話番号	
参加区分	<input type="checkbox"/> 新潟県社会福祉士会の正会員(会員番号) <input type="checkbox"/> 新潟県社会福祉士会の準会員 <input type="checkbox"/> 新潟県社会福祉士会のみらい会員(学生) <input type="checkbox"/> 上記以外(非会員)